

図書館を動かす ～ ちいさな図書館 大きな礎～

鷹野祐子¹⁾、加藤麻理²⁾

¹⁾(財)東京都医学研究機構 東京都神経科学総合研究所図書室

²⁾三菱ウェルファーマ(株) 創薬本部研究部門研究調整部

病院や企業、専門学校やその他研究所などにおいては、1人～2人という少人数の職員で運営されている図書館＝ワンパーソンライブラリは少なくありません。また、運営母体の状況の変化により、職員数が減少している図書館も存在します。このような危機的状況のなか、ワンパーソンライブラリが持続的に成長していくためには、各図書館のあるべき姿を明文化したものの、つまり図書館運営指針を持つことが必要だと考えられます。

相談相手を持たないワンパーソンライブラリアンにとって、図書館の運営方針に則った具体的な業務指針は、日常の業務で判断に迷ったときの拠り所になり、また、職員の交代や様々な状況変化などの要因で、図書館運営にブレが生じるのを防ぐものにもなるでしょう。加えて、一般的に作業マニュアルとされていたものを運営方針や蔵書構築方針等に明文化し、現場の職員および周囲の関連部署に開示することは、図書館の業務を理解してもらい、存在をアピールすることになります。それは、自身の立場を守ることにもつながると考えられます。

本企画では、図書館のあるべき姿を定義する「基本運営指針」とそれに則った具体的な業務指針として、「蔵書構築」「図書館間協力」「コンピューターネットワーク運用」の3点を取り上げ、攻めの運営を行ってワンパーソンライブラリが持続的成長を遂げていくために、どのような視点を持って業務指針を作成するべきかについて考察を行いたいと思います。グループディスカッションという形をとることで、ワンパーソンライブラリの現場をよりダイレクトに反映できるのではないかと考えます。また、本参加者企画を通して、少人数図書館で働く職員間の連携が深まれば幸いです。

< ディスカッション内容 >

【基本運営方針】

サービスの対象、図書館の特性を踏まえて図書館のあるべき姿＝目的を定義する

【蔵書構築方針】 選書・保管・廃棄

【図書館ネットワークへの参加】 ILL・総合目録・スキルアップ

【コンピューターネットワークの運用方針】 HPの公開・電子ツールへのリンク

参加者の皆様に4班に分け、上記4点についてグループディスカッションを行います。企画の最後に、班のディスカッション内容を発表していただく予定です。開催時刻は大会一日目 16:15～17:30を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。